



今年も新入生宿泊研修(4/14(日)~16日(火))を行いました。8日(月)に入学式、一週間もたたない内に、国立阿蘇青少年交流の家での実施でした。

一日目は、各出身小学校の紹介、校長講話。二日目には、阿蘇神社門前町での阿蘇水基めぐり、体育祭の選手決め、キャンプファイヤー。三日目は、中学校での生活全般について説明と、けっこう盛りだくさんの内容でした。1年生の皆さんは班活動を通して、親睦が深まりました。生徒の皆さんの感想を紹介します。



この3日間で、私は学んだことがたくさんありました。その中でも「協力し合う」ということを学びました。阿蘇に来る前は、席が近い人としか話したことがなかったけれど、この宿泊研修でたくさんの人と話すことができました。そして、交流会や水基めぐりなど班で活動していくうちに、いろんな人と仲を深めることができました。協力し合うことで、友達をたくさんつくれたり、コミュニケーションがとれたり、とても良いことがたくさんあります。これから行事などがたくさんあるので、協力し合ってがんばっていきたいと思います。

また、「まわりを見て行動する大切さ」も学びました。グラウンドから帰ってきたときに、靴の裏についていたどろが、たくさん床に落ちてしまい、阿蘇青少年交流の家の方や他の学校の人たちにとっても迷惑をかけたことや、研修が始まる時間になってもしゃべっていたりと、周りを見て行動することができていませんでした。これから練習が始まる体育祭へ向けて、まわりを見て、判断して行動に移していくよう心がけたいと思いました。(1年 平野さん)

ぼくは、三日間の研修を通して、集団行動を学びました。特に、二日目は集団行動の練習や水基めぐり、キャンプファイヤーなど、たくさん研修で集団行動を学ぶことができました。この行動を練習して、日ごろの中学校生活に活かしていきます。他にも、ぼくは、みんなと絆を深めることができました。一年生の男子のほとんどとは仲良くなりました。女子とも、けっこう仲良くなりました。このまま、仲の良い学年で三年間を過ごしていきたいです。青少年交流の家では、起床時間や消灯時間など、日程がきびしく決められていました。ぼくは、このことから、時間を守ることの大切さを学びました。このことも、中学校生活に活かしていきたいです。(1年 西山くん)



ぼくは、この研修で4つのことを学びました。1つ目は、人間性を高めることです。それは、人の気持ちが分かったり、きずついたりするからです。2つ目は、集団行動です。1人だけ乱れたりするときれいに見えなくなるし、災害などのときに必要だと思うからです。3つ目は、協力です。協力するといろんなときに役立つし、友達ができたりするからです。

4つ目は、友達です。今までよりさらに大切ということが分かりました。今後、学校生活では、近々体育祭などがあるので、そのときは集団行動など勉強したことを生かして、がんばっていききたいです。(1年 福山くん)

3月に3年生が卒業したのもつかの間、新学期が始まりました。玉名高校附属中学校では、玉名高校と合同の体育祭(5/12(日))へ向けて準備が進んでいます。新3年生もリーダーとして、1、2年生の指導に当たっています。さて、今年も、生徒の皆さんの活躍を紹介していきます。 2019.4.27 副校長 山部